

# 社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

多様な緑のネットワーク形成と人に優しいみどりのまちづくり

(第4回変更)

平成27年 3月24日

神奈川県 川崎市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成 27年 3月24日

計画の名称	1 多様な緑のネットワーク形成と人に優しいみどりのまちづくり			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	川崎市	
計画の目標				

川崎市は南北に細長く、様々な地形に応じた多様な緑が存在していることから、緑が実感できるまちづくりを実現するため、緑を維持、保全、育成するとともに、新たな緑の創出に努めながら、地域特性に応じた緑と水のネットワークを形成していく必要がある。  
川崎市緑の基本計画に基づき、緑の拠点となる生田緑地、菅生緑地、等々力緑地の大規模公園緑地の整備や、多摩丘陵の緑の保全を中心とした特別緑地保全地区の指定により風格のあるまちづくりを推進するとともに、既存施設のバリアフリー化により身近な公園緑地の整備を推進し、生活空間における緑の質の向上を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・ 1人当たり緑地環境整備面積：3.93 m<sup>2</sup>/人（平成21年度末） → 4.26 m<sup>2</sup>/人（平成26年度末）
- ・ 園路及び広場がバリアフリー化された公園の割合：22%（平成21年度末） → 24%（平成26年度末）

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
(①都市公園等面積+②緑地保全地区等買入公開地+③市民緑地等内施設整備済公開地) / 川崎市の人口	3.93m <sup>2</sup> /人	-	4.26m <sup>2</sup> /人	
出入口と主要な施設を結ぶ園路及び広場がバリアフリー化された都市公園の数 / 供用している都市公園数	22%	-	24%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	10,422百万円	A	10,409百万円	B	C	13百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.1%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	---	-------	---------------------------	------

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園		川崎市	直接	川崎市	都市公園事業（生田緑地）	施設整備4.9ha、用地取得4ha	川崎市						3,502	
1-A-2	公園		川崎市	直接	川崎市	都市公園事業（菅生緑地）	施設整備0.8ha、用地取得0.03ha	川崎市			●●●●			137	H24:地域自主戦略交付金
1-A-3	公園		川崎市	直接	川崎市	都市公園事業（等々力緑地）	施設整備1.1ha	川崎市						72	
1-A-4	公園		川崎市	直接	川崎市	緑地保全等事業	用地取得25.3ha、保全利用施設整備	川崎市						6,490	
1-A-5	公園		川崎市	直接	川崎市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	バリアフリー化 5箇所	川崎市			●●●●			158	H24:地域自主戦略交付金
1-A-6	公園		川崎市	直接	川崎市	公園施設長寿命化計画策定調査	公園施設現況調査・計画策定	川崎市			●●●●			50	H24:地域自主戦略交付金
合計													10,409		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	緑地保全		川崎市	直接	川崎市	保全緑地管理計画策定事業	保全管理計画策定(6地区)	川崎市						13	
合計															

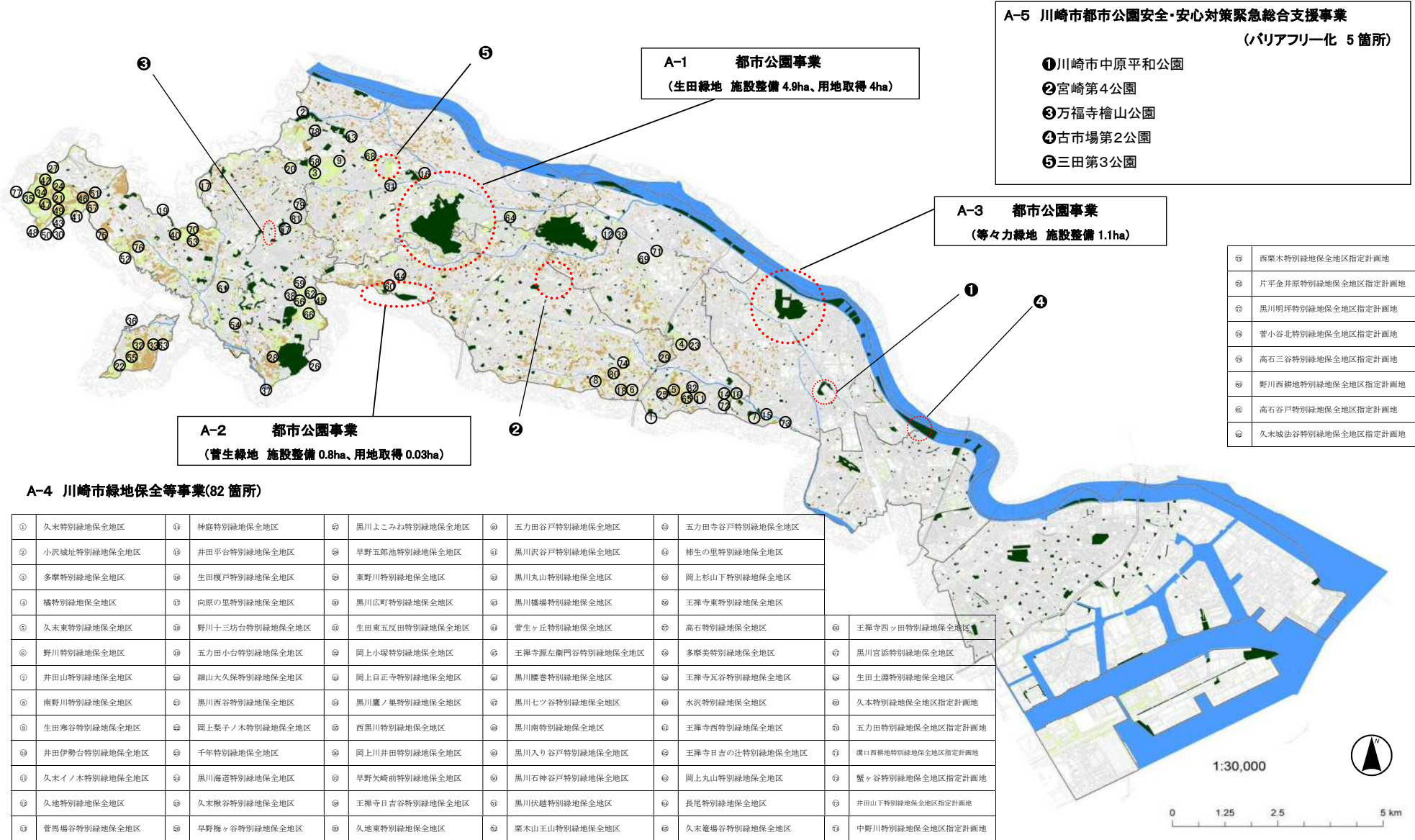
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
1-C-1	土地の買入れ(A-4)により市有地となった特別緑地保全地区において、市民協働によりワークショップを開催して保全管理計画を策定し、良好な樹林地として恒常的に保全していく。												

その他関連する事業														
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		

A'	0百万円	B'	0百万円	C'	0百万円	(C'+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))	0%
----	------	----	------	----	------	--------------------------------------	----

# (参考図面) 事業箇所図

計画の名称	1 多様な緑のネットワーク形成と人にやさしいみどりのまちづくり		
計画の期間	平成 22 年度～平成 26 年度 (5 年間)	交付対象	川崎市



※A-6「公園施設長寿命化計画策定業務」は川崎市全域の公園を対象とするため、位置図には記載していない。

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 多様なみどりのネットワーク形成と人に優しいみどりのまちづくり

都道府県名: 川崎市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①川崎市の総合計画及び緑の基本計画を踏まえたものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性が確保されている。	○